

(平成17年度事業)

施策名 (小項目)	小・中学校	コード	担当課	教育総務課・学校教育課
		03-01-02	電話	64-1802

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目(基本施策)	未来を支える人材を育むまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	社会の変化に主体的に対応できる人間性豊かな「生きる力」をもった児童・生徒の育成を目指して、家庭、地域社会との連携を一層密にしながら、創意工夫を生かした特色ある教育活動の展開を図るとともに、児童・生徒に快適な学習環境を提供するため、学校施設等の整備に努める。	
② 市民ニーズ (反応、問合せ等)	児童生徒への教育の提供や教育環境の整備は、市民にとって関心の高い問題である。また、確かな学力の育成とともに、心の教育の充実を図り、子どもたちにとって楽しい学校にして欲しいという願いがある。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	児童生徒の社会性や規範意識、学ぶ意欲や自立心の低下、高い出現率で推移する不登校児童生徒など、解決しなければならない多くの課題がある。そのため、「確かな学力」の育成と「心の教育」の充実を図る取組が必要である。また、児童生徒にとって安全な学習環境を提供していくために、老朽化の激しい学校施設の整備を計画的に進めていく必要がある。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>小・中学校の管理運営</li> <li>教員の資質向上と指導の充実</li> <li>生徒指導体制の充実・強化</li> <li>特別支援教育、読書活動、特色ある教育活動の推進</li> <li>情報化・国際化への対応</li> <li>家庭や地域との連携推進</li> <li>学校の統廃合の検討</li> </ul>	

⑥ 施策構成事務事業の評価

担当課長評価

施策を構成する事務事業名 ( )はその人件費(単位:千円)	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	直接事業費(単位:千円)		優先 順位 (A~C)
			17年度 事業費		
1 小学校・中学校管理運営事業 (94,535)	C	教員住宅管理事業 スクールバス運行管理事業 小学校管理運営事業 中学校管理運営事業	621 17,971 133,355 75,063		C A A A
2 小学校振興事業 (4,195)	B	電算機等借上事業 教材備品整備事業 図書整備事業 就学奨励事業	26,561 5,267 5,266 20,976		C B A C
3 中学校振興事業 (4,195)	B	電算機等借上事業 教材備品整備事業 図書整備事業 全国大会出場補助金 就学奨励事業	595 4,414 2,819 31 17,493		C B A B C
4 小学校施設災害復旧事業 (1,845)	B	小学校災害復旧事業	3,373		-
5 中学校施設災害復旧事業 (1,845)	B	中学校災害復旧事業	1,002		-
次ページへ					
			314,807		

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)	H17		
	515,570		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	3	学校の課題解決の支援となっており、成果も上がってきている。	3	本来、目標値を100とすべきである(本当に必要な数を要望するであろうから)参考2は、ベンチマークもあるほうがよい
2 事業構成の適当性	3	目的達成の手段として事業を見直していく必要がある。	3	目的達成の手段として事業を見直すとともにニーズも的確に把握していく必要がある
3 施策の有効性	4	児童生徒の心身の健全な発達を担う学校教育の充実のためには、必要な事業である。	3	当然必要とされる中で有効性を高めるためにも家庭・地域との連携により施策を展開する必要がある
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示		各事業の優先順位をもとに、実施事業の重点化を図り、予算に反映させていく必要がある。各種補助金、負担金については事業効果、受益者負担の観点から見直ししていく。		学校現場で問題となっているいじめ等の課題に対する事業も求められているのではないかと
担当部長コメント		学校不適応児童・生徒への適切な支援と指導の充実が必要。通学費助成の早期是正の実施。		

⑤ 施策成果指標の検討・設定(基本目標・基本施策・施策意図から検討する)

意図・推進内容のキーワード	考えられる施策成果指標名	順位
個に応じたきめ細かな指導	T T、少人数指導を実施している学級数の割合	2
不登校児童生徒のための支援	市内中学校の不登校生徒出現率	3
教職員の資質の向上	校内研修における指導訪問実施率	4
学校における人材活用	市費非常勤講師の配置率	1

施策に対する 成果指標名	単位	評価年度 H17	目標値		ベンチ マーク	指標の説明
			H23	H28		
1 市費非常勤講師の配置率	目標	60.0		70	80	非常勤講師雇用時数/ 学校からの要望時数 ×100
	実績	59.0				
	達成率 %	98.3				
参考1 T T、少人数指導等を実施して いる学級数の割合	目標	85.0		90	90	実施学級数/30人以上 の学級
	実績	81.1				
	達成率 %	95.4				
参考2 中学校の不登校生徒出現率	目標	2.5		2.2	2	不登校生徒数/在籍生 徒数×100
	実績	2.6				
	達成率 %	103.6				
参考3 校内研修における指導訪問実施 率	目標					校内研修等指導回数/ 小中学校数×100
	実績					
	達成率 %	#DIV/0!				

市民意識 調査結果	施策名	調査年度				
		H18	H19	H20	H21	H22
学校教育	重要だと思っている市民の割合	%	20.8			
	満足している市民の割合	%	11.9			

